



闘志全開！暑さを吹き飛ばせ！ 少年柔道夏の陣 栃柔整大会

梅雨明けを待つ7月6日、宇都宮市ユウケイ武道館にて、第41回栃木県柔道整復師会柔道大会が開催され、小学生個人戦および形競技に143人の選手がエントリーした。



開会式において、田代会長は「礼に始まり、礼に終わるという柔道の精神を理解し、最後まで対戦相手に敬意を払う気持ちを持って大会に挑んでいただきたい」と語った。その言葉どおり、当大会の主旨は競技柔道だけではなく、「礼法」を重んじ、少年・少女の健全育成を目的としている。その精神が、他者を尊重する心を育て、将来の社会貢献につながる力となる。そして、柔道を通じた人間形成が未来を支える礎となることを願うものである。

福田富一知事からは「礼法を学んでいる皆さんには、社会の手本になっていただきたい。また、本県代表の高藤直寿選手や太田彪雅選手のように、世界で活躍する選手を目指して頑張してほしい」とエールをいただいた。

「有効の復活」

今年は2028年のロサンゼルス五輪に向けて国際ルールが改正され、8年ぶりに「有効」が復活した。従来の「技あり」が2つで「合わせ技一本」となるルールでは、本来の「一本」の価値とはかけ離れていることがあった。また、相手の反則を誘うような試合展開も多くみられた。こうした背景から「積極的に技をかけて勝敗を決する」という、より魅力的でわかりやすい競技を目指すことが今回のルール改正の狙いとされている。とはいえ、小学生にとってはまったく新しいルールの下での戦いとなった。

4年生

決勝は、小柄ながらも多彩な攻め手を持つ甲斐穂^{か い み の り}（野木町柔道クラブ）と、体格を生かし準決勝を見事な払い腰で勝ち上がってきた大森陽生^{お お も り は る き}（帝京豊郷台柔道館）の顔合わせとなった。

甲斐は常に先手を取って技を繰り出し、体格差をものともせず、終始攻め抜いた試合運びで判定勝ちを収めた。試合後に「内股と背負い投げが得意技、練習の成果が出て良かった。大きな相手でも思い切り背負う柔道がしたい」と笑顔で語った。

5年生

前年のチャンピオン・山田茉桜^{や ま だ ま お}（未来塾）とスピードと背負い投げを武器に勝ち上がってきた鹿沼将龍^{かぬましようりゅう}（帝京豊郷台柔道館）の決勝戦。一進一退の攻防のなか、山

闘志全開！暑さを吹き飛ばせ！……………	1	My Box……………	8
新学術部シリーズ……………	3	いざ！ってときは訓練しだい／ほねつぎ日記……………	9
第94回学術講演会・第35回支部代表者研究論文発表会……………	4	支部だより／十三人の刺客資格……………	10
匠の技伝承プロジェクト／柔の志士たち……………	6	令和7年秋の交通安全県民総ぐるみ運動……………	12
保険関係Q&A／保険セミナー「準備中」乞うご期待！……………	7	初めての柔道救護／楽しけりゃ苦みもウマイ！……………	13
小森広報部長が県功労者として表彰……………	7	行事予定／お知らせ／川柳／編集後記……………	14

田が得意の大外刈りでわずかに流れをつかみ、判定により2年連続の優勝を手にした。

試合後に山田は「上級生と対戦してもどんどん投げ飛ばしていきたい」と語り、その豪胆な言葉は彼女の柔道スタイルそのものであった。

6年生

決勝は、望月幹太(帝京豊郷台柔道館)と柏崎煌大(大平町少年柔道クラブ)の対戦が予定されていたが、柏崎が準決勝で腰を負傷したため、望月の不戦勝による優勝となった。

望月は「今大会は一本背負いの入り方が良かったのが勝因だと思う。全国大会に向けて気を抜かず、一本背負いからの連続技をさらに磨いて挑みたい」と語った。その熱き闘志を、全国大会の畳上で存分に発揮してほしい。



形競技会

「形」は、単なる技の演示ではなく、柔道の本質・精神・理合を体現することにより、競技柔道とはまた違う「柔道の完成形」とも言え、非常に奥深いものである。



5チームによる演舞が行われ、緊張しながらも、その真剣な姿は、大人顔負けの柔道家たちであった。結果は、僅差ながら(取)塚原現月・(受)堀江哲禎組(岩舟柔道会)が県代表に選出された。

審査員の先生方からは「練習の成果が垣間見えて非常に良かった」と好評する一方で、さらなる高みへと「所作」についてのアドバイスが送られた。

礼法優良賞

本大会の主旨である「少年・少女の健全育成」を踏まえ、選手だけでなく指導者を含めた礼法や姿勢を総合的に評価・採点し、授与される賞である。

4年 大嶋海葵(真岡少年柔道会)

5年 平石緑理(矢板市柔道教室)

6年 ミルザクロフ・アブドゥロー(野木町柔道クラブ)
アブドゥロー選手は前年に続いて2度目の受賞

救護班



試合開始早々、股関節を負傷した選手が運ばれたが、学術部救護班は迅速かつ丁寧な対応を見せてくれた。泣き顔だった選手も、その確かな処置と安心感に次第に表情を和らげていった。まさに、大会を陰で支える“ガーディアンズ”。その存在は、今回も変わらず心強く、頼もしかった。

本大会の5・6年生の優勝・準優勝者、4年生の優勝者ならびに形競技優勝組は、栃木県代表として、11月16日に講道館で開催される全国大会に挑む。晴れの舞台上で堂々たる戦いぶりを見せてくれることを期待している。

最後に、大きなトラブルもなく、大会を無事に終えることができました。大会運営にあたり、県柔道連盟ならびに作新学院の生徒の皆さまには、大会全般にわたり多大なるご協力をいただきましたこと、あらためて心より感謝申し上げます。

広報部 木下永人

Innovative Academic Department Series 新 学術部シリーズ

付設診療所編

とちのきクリニックでの症例をご紹介します



夏に注意したい運動器の疼痛

【症例①】 71 歳・女性

会員からの依頼は、右上腕骨骨折・両側膝蓋骨骨折の XP 検査と後療の同意が目的であったが、当クリニックを受診する前日から「急に左手関節が腫れて痛む」とのことで、患者から直接追加で診察依頼があった。

【症状】

手関節腫脹・発赤・熱感・圧痛・運動痛・運動制限を認める。患者曰く、年に 1 回程度は同様の症状が発症するとのこと。



【XP 所見】

手根骨間の関節裂隙の狭小化および TFCC 部での石灰化を認める。

【診断】

須田医師の診断は痛風。

炎症症状と既往歴、そして暑い季節での発症が診断の決め手となった。



【症例②】 89 歳・男

受傷原因：エアコンの室外機を運搬した際に後方に転倒して腰を強打し負傷する。

【経過および依頼目的】

負傷翌日に当会会員の施術所を受療した。腰椎横突起・棘突起骨折を疑い、近医にて XP 検査を行う。L1 の圧迫骨折を認めたが陳旧性とのこと。

疼痛重度のため、当クリニックにセカンドオピニオンの依頼をされた。

【症状】

左腰部に自発痛（++）運動痛（++）起立時痛（++）圧痛・叩打痛（-）

施術を受けるが症状改善せず日増しに悪化。受傷 3 日後に血尿が出るが翌日は正常であった。

【検査・診断】

XP 所見では、左仙腸関節内側部と左恥骨上枝部に結石を認める。腰痛は腰部をぶつけたことがきっかけとなったが、①上記の症状が日増しに増悪していること②暑い季節での発症③診察前日の血尿が判断の決め手となり、須田医師の診断は、尿管結石の疑いとして泌尿器科への紹介となった。



【まとめ】

痛風発作は、一般的に男性の下肢での発症が多いが、本症例のように女性や手関節にも発症することが稀にあるので頭に入れておきたい。

また、今回の 2 症例に共通する特徴に「暑い時期の発症」があげられる。痛風も尿管結石も、脱水によって血液や尿が濃縮されることで、結晶や結石が形成されやすくなる。汗をかきやすい夏季は特に注意が必要である。

予防として 1 日に 2 L 以上の水分の摂取が推奨される。

学術部 岡本博志

第94回学術講演会・第35回支部代表者研究論文発表会が開催されます



日時 10月26日(日) 9:10～12:50

場所 帝京大学宇都宮キャンパス

〈講師〉 一般社団法人巨樹の会 新上三川病院 院長 ^{せき} ^や ^{ひとし} 関谷 仁 先生

〈演題〉 手のしびれと膝の疼痛

共催：栃木県柔道整復師協同組合賛助会員展示会

研究論文要旨



第1発表 ストレッチポールを用いたエクササイズによる 顎関節機能障害の改善効果の検討

宇都宮支部 帝京大学 東 文博

近年、顎関節症の要因として姿勢の問題が指摘されている。そこで本研究では、ストレッチポールを用いた姿勢改善エクササイズが顎関節機能障害に及ぼす影響を予備的に検討したので報告する。



第2発表 点電極を用いた電気刺激療法による筋骨格系の痛みについての検討 小山支部 日向野真一

筋骨格系の痛みはノイズが入った活動電位の電氣的シグナルが脳に伝達され自覚するが、この活動電位の電氣的シグナルの正常化で痛みが鎮痛すると考えた。症例には点電極を用い混合（周波数）印加で臨床試験を実施した。少ない症例であるが全例に鎮痛効果がみられた。



第3発表 柔道整復師倫理【猥褻（わいせつ）行為の根絶術】

那須支部 高野 剛

業界の根幹を揺るがしかねない「猥褻行為」は後を絶たない。言語道断な行為であるにもかかわらず、根絶は難しいのが現状である。柔道整復師の品格に関わる問題に、当院で自然と行っている行動が根絶に最適だと思い、まとめてみた。



第4発表 スポーツ障害を有機生命論的思考で診る ～構造論から有機生命論へパラダイムシフト～

宇都宮支部 倉持怜史

西洋医学の構造論的思考だけでは、臨床で「つじつま」が合わないことによく遭遇する。画像検査で異常がなく不調で苦しんでいる患者がいる一方、異常が見つかって不調がない人もいる。これが人である。有機生命論的視点でスポーツ障害を診る。



第5発表 U15（中学生カテゴリー）バスケットボールにおける 下肢の怪我に対する調査

宇都宮支部 村上重樹

中学生カテゴリーのバスケットボールクラブチームにおいて、プレー中の突発的な外傷はもちろん、成長期特有もしくは繰返しの外力により段階的に症状が悪化し発生するスポーツ障害が多くみられる。今回は、下肢の外傷とスポーツ障害に限定し、過去5年間のデータをもとに発生部位とともに再発頻度を調査した。



第6発表 腱板損傷に対する運動療法の可能性 4症例からの考察

栃木支部 三品慶大

腱板損傷の運動療法において、インナーマッスルを強化する運動が一般的だが、今回は三角筋と大胸筋に注目した。安価に揃えられるものを使用し、インナーマッスルと同時にアウトマッスルの運動も行わせたことにより、良好な結果が得られたので、ここに報告する。



第7発表 肩関節腋窩陥凹部の癒着に対する効率的な伸張法の考察

足利支部 遠藤 聡

肩関節関節包の癒着による拘縮はADLが著しく制限され、施術期間も長くなってしまふことがあり、患者の負担も大きくなる。そこで今回は腋窩陥凹部の癒着に注目し、どのようにすれば効率的に伸張を加えられるかを、文献をもとに考察した。



第8発表 痛みと自律神経の関係性

佐野支部 田島征樹

痛みは単なる身体の不調にとどまらず全身の生理的バランスに大きくかかわり、神経・ホルモン・免疫系にも影響を及ぼすことを感じ、特に自律神経（交感神経、副交感神経）の変化が重要と考察したことを報告する。



第9発表 腰痛に対するマッケンジー法の評価・分類

鹿沼支部 叶賀幸宏

腰痛は世界的に主要な障害原因でありあらゆる世代にとって重大な問題である。さまざまな理学療法が存在する中、今回はマッケンジー法（Mechanical Diagnosis and Therapy, MDT）に焦点を当てる。

日整 匠の技 伝承プロジェクト

ほねつぎ、技を継ぐ

7月27日、当会館大会議室にて第1回匠の技伝承プロジェクト技術講習会が行われた。

これは、日整が主催する「柔道整復伝統技術の伝承と未来への改革を進めるプロジェクト」の一環で、各都道府県から派遣された会員が日整の講習を受け、地域で普及させるための講習会の第1回目となる。

第1部は超音波観察装置（エコー装置）の実習。まだまだ未経験の会員や観察装置を設置していない施術所は多いが、将来的には必要不可欠なツールとなることは確実だ。

なぜなら、私たち柔道整復師が唯一使用を認められている画像検査装置で、患者に視覚で訴えることのできる機器だからだ。そして、骨観察はもちろんだが、レントゲンでは写らない筋・靭帯・神経などの軟部組織を観察することができる。さらに、関節運動や筋の収縮をリアルタイムで観察できる点も特長の一つである。



参加者は3台のエコー装置を割り当てられ、2人組になって基礎的な操作方法と読影方法を学んだ。

第2部は整復固定技術実習で、今回は「橈骨遠位端骨折」を取り上げた。現状において断然多い「ワンオペ接骨院」を想定し、一人でできる整復・固定法を基本に進められた。

固定具はクラメルに新聞紙を巻き、その上から包帯で覆いシーネを作成、同サイズの綿花を載せて完成だ。

整復はベッドに寝かせた患者の上腕にタオルをかけ両足で上腕部を固定、両手にて末梢骨片と手関節に牽引をかけ、回内・橈屈・屈曲動作にて整復を終了する。整復後、前腕上部からMP関節までの掌側と背側2本のシー



ネで固定し、スリングは三角巾を使用する。

匠の技の基本的操作は上記となるが、それぞれ研修先で会得した方法があるので、ケースバイケースで最良の方法を選択するのは言うまでもないが、まったく経験のない場合と少しでも体験している場合とでは対応の差は明白だ。

これからも続編全8回を予定しているので、骨折患者来院時に慌てないために準備しておこう。

広報部

柔の志士たち

～未来の柔道整復師の東北・北海道遠征記～

杜の都にある仙台接骨医療専門学校（旧・東北柔道専門学校）のOB会本部から年1回発行される会報誌「くるおび」。今回は、令和7年号に掲載された記事を紹介したい。

その当時、東北柔道専門学校（以下、東北柔専）では、各地で柔道の遠征試合を行っており、昭和52年に実施された第21回東北・北海道遠征では、第24期・25期生で編成された28人の選抜メンバーが参加した。

その選りすぐりのメンバーの中に、当会の高田和典会員（宇）、大嶋孝幸会員（栃）、大塚隆志会員（鹿）、倉持雅之会員（芳）、飯嶋秀夫会員（小）が名を連ねていた。

そして、北海道北見柔道連盟との親善対抗試合では東北柔専が圧勝し、当日の北見新聞の夕刊に「北見軍、歯が立たず」と大きな見出しとともに掲載された。

半世紀を遡る東北柔専の兵^{つわもの}たちが活躍した記事だったが、あらためて鍛錬と研鑽に明け暮れた学生時代を回顧させてくれたことに感謝したい。

広報部 古内秀直

保険関係



Q 返戻や不支給に対してどのように対応すればいいのか、わからない点があるので教えてください。

A 返戻で多い理由が、「記号番号違い」「資格喪失」「給付割合相違」です。これらの不備はマイナ保険証を読み取ることで間違いを減らすことができますので、ぜひ活用をお願いします。

返戻、不支給で問題化しているのは、①医科との併給 ②投薬処方あり ③慢性疾患の診断 ④施術部位相違です。主にこの4つを事務局で分類し保険部長が全ての返戻、不支給の申請書を確認しています。

基本的に返戻に対しては、保険者または外部委託会社が返戻してきた理由や確認内容などに対して回答し再提出してください。

①②に対しては、医療機関において「薬剤又は治療材料の支給」にとどまり、「処置・手術その他の治療」に当たる器具などを用いた治療、いわゆる「消炎鎮痛処置」を受けていないか、この部分が重複しているか否かがポイントとなります。

仮に、手術を後日予定していて、それまでの期間を医師の管理下としても「担当医から施術の同意を得ていれば、それまでの期間は重複ではない」という厚生局審査官の見解もあります。また、最近の事例では、「医科併給」に対しての不支給で、患者の協力のもと当会員2人が代理人として起こした審査請求で正当な根拠を示した結果、ともに「原処分取り消し」の決定があり、支払いが認められることができました。

一方で、「原処分取り消し」とならなかった事例も検証し、今後の審査請求で良い結果が得られるよう対応していきます。

正当な請求に対する不支給事案については、金額の多少にかかわらず怯むことなく、正当性を示すための根拠をもって審査請求を行うことが重要と考えます。

③に対しては「外傷性が明らかな負傷」であり、「慢性に至っていないもの」であることの証明が大切です。予診票、施術録の日々の記載、これらがエビ

デンスになりますので日頃からどんな負傷であっても怠らず記載してください。これらに不備があると、後々対応するには厳しくなってしまいます。

④は、患者が曖昧な記憶のまま患者照会書などに記載、提出してしまい齟齬が生じて返戻されるケースがあります。

これに対しては、初検時、後療時において「どの部位の負傷なのか、そしてその負傷（外傷）に対する施術を受けている」という患者との相互認識が大切です。特に「上部」「下部」など近い部位に対する施術は、患者さんの理解が必要です。

このような返戻や不支給に対して「事務局または保険部で対応できないか？」というご意見もいただきますが、事務局および保険部では①～④の分類とすべての返戻・不支給申請書の確認にとどまります。実際には患者さんからの聞き取り、もしくは施術録、予診票からの資料作成など、施術した当事者でないと対応が難しい部分もありますので、それらに対しては各施術所で対応をお願いいたします。

ただし、文面をどう要約していいのかわからない場合や、あまりにも悪質な、あるいは理不尽な案件などに対しては事務局または保険部までご連絡ください。

保険セミナー“準備中”乞うご期待！

今後、保険部としては田代会長による「保険セミナー」の開催を予定しています。これらの水際対策と情報発信、また患者をいかにして増患させるかなど、会員の皆さまからの質問、意見などを受け付けますので事務局または保険部まで遠慮なくご連絡ください。

小森広報部長が県功労者として表彰

6月13日、県公館において令和7年度栃木県各種功労者および優良団体表彰が行われ、保健衛生医事功労者として当会理事の小森照久広報部長が表彰されました。おめでとうございます。



My Box 支部リレー投稿

第256走者 芳賀支部 磯 忠祐

カレーの黄金比を考えルー



スーパーマーケットなどに行くと、カレーの棚に目にとまります。色とりどりのパッケージに年甲斐もなく心が躍ります。

このカレーたち、単体で作っても大変おいしいのですが、数種類を混ぜるとさ

らにコクと旨味が増すのをご存じですか？

最近、わが家では市販の「カレー黄金比」を考えながら作り、食することがマイブームになっています。

《主観的おすすめ黄金比》

- バーモントカレー（甘口）：ジャワカレー（中辛） = 1 : 1

私的には最強の組み合わせで、しっかりとした辛さの中にコクを感じる本格的な味わいになります。

- ジャワカレー（中辛）：S & B 印度カレー（辛口）：ゴールデンカレー（中辛） = 2 : 1 : 1

この組み合わせはかなりのエゴです。辛さと深みのバランスが絶妙です。

- バーモントカレー（甘口）：ゴールデンカレー（甘口） = 3 : 1

子供が大好きで、大人も満足できる深みのある味わいです。



このようにメーカー各社がしのぎを削るルー市場で、たった一つの「正解」などありません。

私の飽くなき食い意地と探求心で、カレーの、そして全家庭の食生活をも変えていければと日々キッチンに立ち、日本の食卓に「混ぜルーんです旋風」を巻き起こそうと目論んでいます。

次回は那須・宇都宮支部にバトンタッチです。

第257走者 塩谷支部 穂山茂大

地域行事の大切さ



私の住んでいるさくら市氏家地区では、八坂神社の夏祭り「天王祭」が毎年7月20日前後の土・日に行われている。

八坂神社の周辺の9行政区が順番で当番町となり、神輿やお囃子屋台を出してお祭りの運営にあたる。しかし、近年はどの行政区も戸数の減少や高齢化が進み、人手を確保することが難しくなり以前のようなお祭りを行うことができなくなってきていた。

そんな中、昨年私の住む行政区が当番町となったので私も役員として参加した。

最初の役員会議は前年の11月、役員の間合わせや9年前に使用した提灯や法被など劣化した備品の確認、今後のスケジュールについて話し合い、その後も月に1～2度のペースで会議を開いた。

4月からは参加者の募集（要員100人）を開始した。最初は50人にも満たなかったが、諦めずに育成会への声掛けや地元の消防団への参加要請、本人だけでなく友人や知人にも募集の輪を広げたところ、6月下旬には100人を超える参加者が集まった。



お祭り当日は、隊列の先頭に立って神輿やお囃子屋台を誘導する。1日目は約2時間、2日目は約9時間もの間、旧氏家町内を渡御。

2日目の午後8時にはメイン会場の歩行者天国によろやく突入する。神輿の掛け声はより一層大きくなり、お囃子の音が会場に鳴り響き、その先頭を自分が歩いていく。最高に気持ちのいい時間だった。

全国的にもお祭りを維持することが難しくなっていると聞くと、今後も氏家のお祭りが継続できるように協力していきたい。

いざ！ってときは 訓練したい



7月26日、当会館にて「一次救命処置訓練講習」が行われた。これは、県からの補助金の支給対象となる事業の一つで、県議会議員の金子武蔵氏も視察に訪れた。

塚原経理部長が講師となり、災害時に想定される傷病や、最近よく耳にする熊や犬による負傷などさまざまなケースを紹介。また、一次救命処置の手順では、周りの人へ応援を依頼する方法、救急隊への引継ぎなどを学んだ。

AEDを要請する場合、最近ではコンビニに設置されていることも多いので覚えておこう。

心肺蘇生法（CPR）は訓練用マネキンとAEDを使い実習したが、胸部圧迫と人工呼吸、知ってはいても実際は加減・タイミングが難しく、定期的な訓練は必要だと強く認識した。



新しいAEDは優秀で、音声で指示を出してくれるし、胸部圧迫のタイミングを教えてくれるものまである。これもまた、実際に必要な場面に遭遇したときに慌てて何もできないのでは、医療従事者として恥ずべきことなのでしっかりと学んでおくことの重要性を痛感した。

救急隊が現場へ到着するまで10.3分。医療機関までは47.2分（全国平均2023年データ）で栃木県は平均43分。また、栃木県の一般市民によるAEDの使用率は0.78%（全国平均1.17%）となっており、AEDが世に知れ渡っていても実際に使用されるケースは少ないことがわかる。

ちなみにAEDは救急隊がそのまま引き継いでも後日返却されるので、決して外さないように。

柔道整復師がこんな知識もあると認めてもらうためにもしっかりと訓練していきたいと思う。

「医療救護活動に資する研修会」は定期的に行われているので、まだ参加したことがない会員はぜひ参加してほしい。

広報部 丸山佳洋

ほねつぎ日記

予定のない休日だったので、未体験だった宇都宮ライトライン（LRT）に乗ってみようと思い立った。「乗車するだけ」では味気ないので、JR宇都宮駅東口にできた商業施設「ウツノミヤテラス」でお昼にしようと、芳賀方面から乗ることにした。

事前にSuicaを準備。LRT利用者専用駐車場のある「芳賀町工業団地管理センター前」に車を置き、そこから乗車した。



日曜だったせいか車内の人影はまばらだったが、七つ目の「清陵高校前」からは高校生たちがどっと乗り込んできて車内が一気に華やいだ。さらに「宇都宮大学陽東キャンパス（ベルモール前）」では乗降客が増し、ほぼ満員のままJR宇都宮駅に到着した。

芳賀工業団地からゆいの杜の新興住宅地を抜け、田園風景と鬼怒の清流を楽しみながらリニューアルされたJR宇都宮駅に続く41分間（各駅停車全線で46分）の路面電車に揺られる旅でした。

★ここでLRT初心者のためのアドバイス

交通系ICカードで乗車するときは緑のパネルに「ピッ」と鳴るまでタッチ、降りるときはその上にある黄色いパネルにタッチして降車してください。タッチパネルの位置が乗車時と降車時で違いますのでご注意ください。ICカードへのチャージ（入金）は車内でも行えます。



現金で支払う場合は、乗車ホームにある整理券発行機で整理券を取ってから乗車します。降車する場合は、運転席後ろのモニターで運賃を確認し、先頭車両の運賃箱に整理券と一緒に運賃を入れてください。

おつりが出ませんので、事前に運賃箱にある両替機で両替をしておきましょう。

支 部 だ よ り

宇都宮支部

柔道救護の熱い夜

6月27日、当会館において宇都宮支部柔道救護勉強会が開催された。これは、今年度当会で作成された柔道救護活動時のガイドラインを受けて行われたもので、柔道とその外傷に精通している支部役員の大橋一也監事が講師を務めた。

今回参加した26人のうち約半数が若手の会員で、救護現場での役割・対応・処置など、支部で作成したマニュアルをもとにした説明に熱心に耳を傾けていた。また、比較的発生しやすい肩関節脱臼を想定し、経験の浅い会員に対して整復法とその処置の実技指導が行われた。

このような勉強会を通じて、会員同士の交流が生まれるのは嬉しいことだ。今後も定期的な勉強会が予定されているので、積極的に参加してほしい。



講師を務めた大橋監事から、次のようなメッセージが寄せられた。

— 柔道という競技の裏側で、選手の命と未来を守る私たちの使命の重さを、あらためて深く実感しました。▼現場では一瞬の判断がすべてを変えることがあります。迷えば遅れ、遅れれば選手の将来に影響を及ぼすかもしれない。その緊張感の中でこそ「今、最善を尽くす」準備と覚悟が試されます。▼思い返せば、以前の大会で肩を脱臼した中学生がいました。処置を終えると、悔しさをこらえながら「ありがとうございます」と深く頭を下げてくれたその姿が、今でも忘れられません。彼もまた「今」に全力を懸けていた。そう思うと、あの一瞬を支えることができた自分たちの存在意義が静かに胸に

響きました。▼私たち救護スタッフはただの裏方ではありません。選手が全力でぶつかる「今」に、自らの技術と判断力と人間力を注ぐ、影の主役でもあるのです。—
大橋監事にはこれからも若い会員に熱い想いを伝えていただきたい。

通信員 小野塚和史

鹿沼支部

地域包括ケア・多職種連携に向けて話し合い

6月26日、鹿沼市議会議員との懇談会が神谷ゆきのぶ後援会事務所にて開催されました。この懇談会は、当会顧問である小林幹夫先生のご尽力により実現できたもので、神谷幸伸県議会議員をはじめ、市議会議員6人に五十嵐清代議士秘書、事務方を合わせた10人の市議会関係者にご出席いただきました。

当会からは石井士朗総務部長、鈴木忠夫介護保険部長、そして鹿沼支部から支部長の私を含む4人が参加し、在宅医療の推進・地域包括ケアシステムに柔道整復師を活用していただくために必要な取り組みについて話し合いました。

今回このような運びとなった経緯については、当会介護保険部鹿沼市担当の小林栄稔委員から「支部会員からの相談を受けた議員の方々が迅速な対応をしてくださった」との説明がありました。



石井総務部長は「柔道整復師は何ができるのか」を知ってもらうため、柔道整復師の業務内容（受領委任・償還払い・施術内容）や現況、足利支部での介護事業への参入状況について説明し、さらに往療や利用者の自宅に向いての機能訓練もできることを伝えました。

また、当会の救護活動にも触れ、柔道整復師の認知度向上のために地域のスポーツ救護活動に参加できるように「ぜひ声をかけていただきたい」とお願いしました。

小林顧問は「柔道整復師は何ができるのかをわかって

もらい、認知度を高めることが大切」と話され、高齢化社会となっている現在、さまざまな分野で高齢者が活躍して「ゲートボールやグラウンド・ゴルフの会場での救護のほか、老人会との懇談会などでデモンストレーションを行うことも有効ではないか」との提案もいただきました。

神奈川県議も、「柔道整復師を認知してもらうためには、さまざまな分野で活躍できるように積極的に活動することが大事ではないか」と述べられました。

鈴木介護保険部長からは、介護保険の現状や柔道整復師が介護の分野にどのように参入しているかを説明しました。

また、当会では機能訓練指導員講習の受講を積極的に推奨し、会員のレベルアップに努めているとアピールしました。

私からは、支部会員の現状や医接連携について、そして通所事業サービスC型への参入希望者がまだ少ないことを報告しました。その理由は、内容の理解不足が原因となっており「昼休みや休療日を利用して活動ができるのか」を不安視していることも付け加え報告しました。

また、肝心の報酬についてまったくわからない会員が多く、具体的な数字を算出しシミュレーションした上で判断することも必要ではないかと提案させていただきました。

私たち鹿沼支部会員は今後、介護事業への参入を本当に必要としているのか、また柔道整復師の認知度を高めるためにはどうしたらよいのかを話し合い、具体的な方向性を示した上で、議員の方々へ要望を出していくことが肝要であると感じました。

小林顧問からは「一回で決めることはできないこと。第2回・3回と9月までに話を進め、来年度4月からの施行を目指しましょう。そして『こうしてほしい』という要望を出すことが大切です」とお話しいただきました。

最後に、鈴木介護保険部長から「いつでも会議などで説明が必要な時にはお知らせください」と心強いお言葉をかけていただきました。

通信員 高橋秀典

栃木支部

ここち酔い風に吹かれ

7月23日、栃木グランドホテルにて令和7年度第2回栃木支部会を開催した。



櫻田新支部長の下で行われた初の支部会。協議事項、伝達事項のほか、栃木市内に昨年開設された「エイジェックススポーツ科学総合センター」の視察参加を呼び掛けた。

その後、場所を同ホテルのスカイガーデン KURASORAに移した懇親会では、綿貫当会前監事・鳩山前支部長の退任慰労会も兼ねた。「この酷暑の中、屋外のビアガーデンで？」と思ったが、両会員の日ごろの行いの賜物か、直前に降った雨のおかげか心地よい風が吹き、とても気分よく酒に酔えた。

栃木支部 丸山佳洋

十三人の刺客資格

4月26日、宇都宮東武ホテルグランデにて令和7年度東北柔専OB会栃木支部総会が開催された。

鈴木忠夫支部長は、昨年度のOB会全国総会の報告と来年度開催の案内のほか、OB会存続の意義と団結の重要性を話された。また、田代富夫当会会長は、現在全国の柔整師会会長に東北柔専OBが5人（関東に3人、東北に2人）いる強みを生かし、協力や連携を図りながら業界の発展につなげていきたいと述べた。

議事については全て承認され、新会計監査に60期の赤木雄史会員が選任された。

この日の出席者は13人。映画「十三人の刺客」ではないが、現状を憂いたり、課題解決の糸口を求めたり、物事の転帰を考えたりなど、それぞれ何かしらの志を持って集まったはずだ。刀も甲冑もないが、代わりに「絆」や「人脈」という武器がある。

OBと柔道整復師有資格者という共通項で面倒見の良い先輩と可愛げのある後輩が出席する当会。団結することで成し得ることが多くあると期待したい。

広報部 古内秀直

日常生活の見直しこそが最善の予防策

6月21日、塩谷・那須支部は、昨年の学術講演会で講師をしていただいた医療法人亮仁会那須中央病院院長の吉川一郎先生を招き、合同勉強会を開催、「日常診療でよく見られる大人の首と腰の病気について」というテーマで講演していただいた（当会館にて出席者数33）。

長年にわたり脊椎脊髄外科に携わってきた吉川先生は「首や腰の症状は誰にとっても身近な問題。だからこそ、見落としや過剰診断に注意しつつ、必要な治療を見極める姿勢が大切だ」と話された。



今回は、多くの臨床データや検査、手術画像をもとに進められたが、まず頸椎病変として、頸椎症性脊髄症、頸椎症性神経根症、頸椎椎間板ヘルニア、後縦靭帯骨化症について説明。それぞれの症状によっては徒手検査として Jackson test、Spurling test の有用性、保存的治療として牽引療法、温熱療法、頸椎カラー固定の有効性を示された。

次に、腰椎病変として、腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症が挙げられるが、外傷性だけでなく、内科的、婦人科的、泌尿器科的、精神科的疾患との鑑別の重要性を述べられた。

それぞれの症状によっては徒手検査として下肢伸展挙上テスト、膝蓋腱およびアキレス腱反射テストの有用性、コルセットの有効性を示された。

吉川先生は治療において、まず保存療法（薬物・理学療法・装具・注射など）を基本とする方針をとっている。「日常生活に支障がなければ、無理に手術を選択する必要はない。痛みが取れにくくなったり、神経麻痺が出てきたときが分岐点だ」と述べ、日常生活での工夫が病気の予防や再発防止に大きく寄与すると強調した。

患者と向き合い続ける吉川先生の言葉には、医学的知見と人間味の両方がにじむ。私たち柔整師の臨床でも首と腰の外傷は多く見られる。今回学んだことを生かして患者と向き合い、症状に対して有効なアプローチをしていきたい。

最後に、吉川先生には懇親会にもご臨席賜り、大変有意義な時間を過ごさせていただいた。次回の開催も大いに期待したい。

通信員 古内秀直

令和7年
秋の交通安全
県民総ぐるみ運動



1. 運動の目的

本運動は、広く県民一人ひとりに交通安全意識の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付け、交通事故防止の徹底を図ることを目的とします。

2. 運動の期間

令和7年9月21日(日)～30日(火)までの10日間

3. 運動の重点等

(1) 運動の重点

- ア. 歩行者の安全な道路横断方法等の実践と反射材用品や明るい目立つ色の衣服等の着用促進
- イ. ながらスマホや飲酒運転等の根絶と夕暮れ時の早めのライト点灯やハイビームの活用促進
- ウ. 自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底とヘルメットの着用促進



(2) 事前周知日

9月19日(金)

「秋の交通安全県民総ぐるみ運動オープニングセレモニー」（県庁本館1階「県民いちごホール」）

(3) 統一行動日

9月24日(水) 「子どもや高齢者に優しい3S（スリーエス）運動」推進強化の日

9月26日(金) 「飲酒運転根絶」「夜間走行中の原則ハイビーム」徹底強化の日

9月29日(月) 「自転車マナーアップ」強化の日

9月30日(火) 交通事故死ゼロを目指す日(全国統一)

【子どもや高齢者に優しい3S(スリーエス運動)とは】

- SEE (見る) : 子どもや高齢者をいち早く発見する。
- SLOW (減速する) : 子どもや高齢者を見たら減速する。
- STOP (停止する) : 危険を感じたらすぐに停止する。

初めての柔道救護

— 肘関節脱臼に遭遇 —

7月22日、ユウケイ武道館で行われた県中学総体柔道大会に救護員として参加してきました。

初めての救護活動ということで、緊張しながらも救護バッグの中身の確認、また宇都宮支部柔道救護講習で学んだことを思い返しなが、落ち着いて対処することに努めようと臨みました。そして、今回の大会は団体戦のため、体重差がある選手同士の対戦もあるとのこと、負傷のリスクは高くなると予想していました。



試合中は救護員であっても選手に触れてしまうと失格になってしまうので、真剣に試合を行っている選手たちに私たちが触れなくてはならない

ようなケガが起きないように願いながらも、いざとなったら迅速に対処できるように、使用しそうな衛生材料の用意をして待機していました。

試合を見ていると選手たちの負けたくないという思いや必死さが伝わってきて、ケガをしそうな場面でも、救護員という立場でしたが「頑張り」という気持ちにもなっていました。

処置のほとんどが試合後に診てほしいと来るものや鼻血などでしたが、女子の試合でそれは起こったのです。

抑え込みに必死に抵抗した選手が負傷し、畳の上で動けなくなったため救護員が呼ばれました。共に参加した大橋一也会員が真っ先に駆け寄ったのですが、女子選手でもあったので私も続いて試合場に入りました。

右腕を押さえて「痛い」と言う選手の状態を大橋会員が確認したところ、肘関節が脱臼していることがわかりました。

審判に伝え、当然試合は棄権。指導者、保護者に応急処置の同意も得られたため、場外に目隠しをした処置場を作ってもらい整復処置へ。

右肘関節の後方脱臼で、大橋会員が前腕を牽引していく中で、私自身は「肘頭を押し込むようにして」との指示を受け、無事に整復することができました。

痛みは残っているものの、顔面蒼白だった選手の顔色も整復後には血色が良くなり落ち着きを取り戻しました。氷で患部を冷却しながら三角巾で提肘し、保護者の方にそのまま病院に行っていただくよう指示しました。

昨今、接・整骨院で脱臼や骨折を経験する機会が少なくなっている中、とても貴重な経験をさせていただきました。そして、自分自身がこれからも精進していく必要性を痛感する機会となりました。

宇都宮支部 松本留美子

楽しけりゃ苦みもウマイ！



皆さん、ビールは飲みますか？

ビールには、vit. B群、葉酸、カリウム、マグネシウムなどの栄養素が含まれています。特に vit.B2 は脂肪燃焼に必要な酵素を助ける補酵素としての働きがあり、エネルギーの供給や代謝に役立つようです。

さらに、炭酸ガスは胃液の分泌を促し、ホップの爽やかな苦味は消化を助け、食欲増進効果があります。飲みすぎなければ健康効果も期待できそうですね。

でもビールって苦いですよね。私はそれが旨いと思って飲んでいますが、苦味は基本的に人間が嫌う

味覚です。では、なぜビールはおいしく感じるのでしょうか？

味覚コンサルタントの菅慎太郎かんしんたろうさんの話では、人は「味」よりも「香り」、つまり嗅覚の記憶のほうが強く残るらしいのです。楽しい場面でのビールの香りは「苦い」を「旨い」に変え、気乗りしない飲み会の席では「苦い」まま記憶されてしまうということです。気の合う人たちと楽しく飲めば、ビールが苦手な人も大好きになるかもしれません。

では…生いっちょう!!



ホップ伊澤

2025 (令和7年)

行事予定

※とちのきクリニック
の受付は9:30~
11:30です

9月

- 7日(日) 10:00 とちのきクリニック 須田医師・館・鈴木勝・小林
- 8日(月) 療養費支給申請書必着日
- 12日(金) 20:00 理事会 [WEB会議]
- 17日(水) 20:00 とちのき編集会議 小森・加藤・手塚
- 18日(木) 20:30 予備点検 [当会館] 理事・監事・支部長
- 21日(日) 9:30 第15回帝京豊郷台シンポジウム [帝京大学 宇都宮キャンパス]
- 10:00 とちのきクリニック 須田医師・岡本・大芦・大木
- 24日(水) 14:00 労災審査 [当会館]
- 20:30 IT委員会 [当会館] 小森・植木
- 25日(木) 10:00 国保審査会 [国保連合会902号室]
- 26日(金) 10:00 協会けんぽ審査会 [とちぎ福祉プラザ]

10月

- 5日(日) 10:00 とちのきクリニック 飯島医師・高野・平野・小林
- 8日(水) 療養費支給申請書必着日
- 14日(火) 20:00 とちのき編集会議 小森・古内・小野塚
- 15日(水) 20:00 理事会 [WEB会議]
- 17日(金) 20:30 予備点検 [当会館] 理事・監事・支部長
- 19日(日) 10:00 とちのきクリニック 須田医師・岡本・星野訓・大木
- 21日(火) 14:00 労災審査 [当会館]
- 20:00 とちのき校正会議 小森・植木・藤田
- 24日(金) 10:00 国保審査会 [国保連合会902号室]
- 10:00 協会けんぽ審査会 [とちぎ福祉プラザ]
- 25日(土) 18:00 協同組合講演会 [未定]
- 26日(日) 第94回学術講演会 [帝京大学]
- 第35回支部代表者研究論文発表会 [帝京大学]
- 28日(火) 20:30 IT委員会 [当会館] 小森・丸山

(変更や追加などはホームページをご覧ください)

川 柳

塩谷支部 船橋 仁和

ギンギラの夏を乗り切るビール腹
マッチングアプリときめく人に会い
ほどほどの欲なら願い叶うはず
曖昧にしとく結末だっていい
忘れてもいい雨傘を持って出る
冷静になるため一步退いてみる

information

お知らせ

会員数

令和7年8月1日現在

会員数 **351名**
 研修柔道整復師 **10名**
 施術所数 **334院**



会員の異動状況報告

(研)・・・研修柔道整復師

- ・足柔整103 笹田 春輝 Lightdoor接骨院
- 〒326-0844 足利市鹿島町1125-31
- ☎0284-55-4900 令和7年7月15日 入会

訃報

宇都宮支部 鈴木 忠夫理事・栃木支部 鈴木 強
強会員のご尊父様(義雄様 85歳)がご逝去されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

ご会葬御礼

過日は、ご多忙中にもかかわらず、会員の皆様にはご会葬を賜り誠にありがとうございました。

宇都宮支部 鈴木 忠夫
 栃木支部 鈴木 強

ニューフェイス

①生年月日 ②施術所名 ③施術所住所
④TEL ⑤出身校
⑥趣味 ⑦抱負

ふえた はるき
笹田 春輝 足利支部(令和7年7月15日入会)

- ①平成10年2月9日 ②Lightdoor接骨院
- ③足利市鹿島町1125-31 ④0284-55-4900
- ⑤上武大学 ⑥ゴルフ
- ⑦明るい社会を目指す



編集後記



焼けつくような暑さの中、
白球を追う球児たち。勝負の
世界なので勝ち負けがあるの
は当たり前。

勝っても涙、負けても涙、私はつられてもらい泣き。スポーツに全力で向き合う姿に、遠く昔の自分を見るようで。

ところで、真っ黒に日焼けした高校球児。治療台でうつ伏せなのか仰向けなのか、分からなくなってしまいうらいの子にツッコミしてしまうのは仕方のないことですね。

ドラえもん